



NewAir 代表

松本 一樹

KZKC

profile

茨城県土浦市、1993年生まれ。2012年に大学の為上京後、機会がありイベンオーガナイザーのキャリアを歩み始める。2014年本格的にDJ活動を開始し、イベントや飲食店を中心に活動の域を広げ、デビュー半年でダイバーシティ屋上で開催された1500人規模のキャリフェスに出演を果たす。2018年新宿にある大箱WARP SHINJUKUのイベント制作からナイトクラブシーンに進出し、翌年には渋谷のLAUREL TOKYOで、毎週200名以上を集めるイベントを創り上げることに成功する。イベントプロデュース力を評価されその後も様々なクラブやイベントの制作を受け、DJとしても北海道や大阪を中心に全国でゲスト出演を果たす。2022年1月より、日本のナイトタイムエコノミー推進を視野に「New Air DJ SCHOOL」を立ち上げ、業界から高い評価を受ける。

プレイスタイル：TOP40 , EDM, ROCK, House, J-POP, Hip-Hopなど幅広いジャンルに対応可能。

趣味：音楽・筋トレ・ゲーム

座右の銘：意思より意志

DJの弟子30名

TikTokフォロワー 4万人

DJ ✕ 経営者

想い

DJを始めて早8年以上。ナイトクラブシーンに参入して気づいたことが、若手が全くお金を貰えていない。無給で現場に出ることは当たり前、集客の報酬なんてものは微々たるもので、DJの立ち位置が低いことに気付かされました。もちろんアーティストである以上、最初からお金を頂けるのも虫がいい話だとは思いますが、それ以上にDJに対する扱いは相当酷いものだと感じました。僕が思っているDJは、フロアにいるゲストと感情をマッチさせ、場を沸かすエンターテイナーであり、ナイトライフ限らず音楽市場におけるDJは、他のアーティストと然程変わらない価値があると思っています。そして同時に、日本には、DJをただのDJとしてではなく“日本経済を多方面から支えていけるアーティストを育てるスクール”が少ないことに気づきました。ナイトタイムエコノミーを発展させることで雇用が増え、観光業を盛り上げることで訪日外国人も増加し、ナイトライフに日本が寛大になることで消費活動も促進せられ、飲食業で音楽革命を起こすことでエンターテインメントの側面を拡大できる。そうしていくことによって、日本がより良い未来に向かっていけると信じてします。様々な形で日本経済に貢献していけるように、自分と関わっていただける人を募集しています。

